

間伐材有効活用 プロジェクト



森の恵みを
地域へ
世界へ
未来へ



公益財団法人あすて

公益財団法人あすて

1966年12月に、「働く人々に憩いの場を与え、ひいては地域社会に奉仕すること」を目的に多くの企業の賛助を得て設立されました。現在も「ボランティア精神」を基本理念に、社会のニーズにあわせた様々な事業をボランティアとともに進めています。

森のプレゼント

間伐材有効活用プロジェクトの中心となっているあすてのボランティアグループ。間伐材を活用して木工製品を作り、福祉施設やこども園などに寄贈する活動を行っています。今までに、ベンチや積み木を寄贈したほか、あすての設立50周年を記念して取り組んだ間伐材の原寸大初代カローラづくりを中心となって担いました。メンバーは現在おおよそ20名程度。主婦から元企業の技術者まで幅広いメンバーが和気あいあいと活動しています。



寄付者募集中!!

寄付額：1口 30,000円

申込み：所定の申込用紙（あすてHPにてダウンロード可）にご記入の上あすてまでご提出下さい。

寄付額に応じ、ご希望の施設へベンチ、積み木等を製作し寄贈しま



公益財団法人あすて

〒473-0911

愛知県豊田市本町本竜 43

TEL：0565-52-0362 FAX：0565-52-0363

astenasa@hm9.aitai.ne.jp

<http://www.aste-toyota.com>

間伐材有効活用プロジェクトとは

豊田市の約 7 割は森林です。また、市の中央を流れる矢作川の上流には人工林が多く、災害対策の観点からも人工林の間伐が課題となっています。公益財団法人あすてが進める間伐材有効活用プロジェクトは、豊田市内の多くの団体と協力し、間伐から材出し、運搬、製材、製品づくり、寄贈を、民間の力で行う事業です。間伐する人、材出する人、運搬する人、製材する人、製品を作る人、それぞれの役割を、それぞれの団体や個人が担い、最終的に間伐材から作り上げた製品を福祉施設やこども園などに寄贈します。間伐材の良さを多くの人に知ってもらおうとともに、森林保全にもつなげ、さらに、ボランティアのやりがいにもつながります。運営は全て企業・個人からの寄付金で賄われています。多くの皆様の支えによって、この事業は循環していきます。

間伐材有効活用プロジェクト

